

日本の再生エネルギー リサイクルを支えるクレーン技術

東洋ホイスト株式会社

環境クレーンで全国シェア40%を誇る東洋ホイスト(株)。再生エネルギーが非常に注目される中、このリサイクルシステムを支えているのが、同社が開発する全自動運転仕様のクレーン製品だ。

宮崎県の再生エネルギー事業所に同社の製品が導入されている。ここでは鶏糞を燃焼した熱をエネルギーとして発電供給しており、成分を均一化する設備に鶏糞を投入するクレーンとして活躍。宮崎県内には養鶏所が多く、これまで鶏糞はごみ処理されていたが、エネルギーに変わるのに加えて残った焼却灰も肥料としてリサイクルされる。

秋田市にあるバイオマス発電施設では、粉体供給機・スクリーナー・フィーダーを接続したクレーンが使われている。地元山林伐採時に出る木材を破碎した木質チップや、パーム油を製造する過程に廃棄物となっていた物質・PKSを燃料にタービンを回して発電。燃料をボイラーに供給する過程に用いられている。また汚泥を焼却炉へ投

入するためのクレーンなども納入しており、自社発電供給や再燃供給も行っている。東谷典章社長は「福岡の地で地道に築き上げてきた売上高30億強の企業が、仕事を通じて日本の環境を支えられていることは幸せだ」と社会貢献への強い思いを語る。

そのほか全国的に自治体が運営するごみ処理場にもこれら全自動環境クレーンを納入。パソコンを使用し、あらかじめ積み替えや攪拌、投入の動きを設定すると、一連の流れをクレーンが判断して行う。電気回路設計を担当する中下雄介技術部員は「各施設に最適な動作設定が可能。全自動により人件費を削減できるのに加えてクレーン各部品の消耗が少なくなり、機器の寿命も長くなる」と説明する。稼働エリアに人が侵入すると動作停止や自動運転不可などの安全対策も徹底。機械設計担当の森圭介技術部員は「環境クレーンを設計開発する一員として製品が社会貢献につながっていることに誇りを感じる」と熱い思いを語った。

環境クレーンで未来の日本をクリーンに



鶏糞クレーン(宮崎県)



福岡市東部資源化センター



バイオマス天井クレーン(秋田市)



次代の搬送技術にチャレンジ

東洋ホイスト株式会社

本社・工場 〒811-0112 福岡県糟屋郡新宮町下府 2-11-1
TEL 092-962-1431(代) FAX 092-962-1433
東京支店 〒143-0016 東京都大田区大森北 1-1-5
TEL 03-3766-1621(代) FAX 03-3766-1596
大阪支店 〒543-0011 大阪市天王寺区清水谷町 8-15
TEL 06-6768-4731(代) FAX 06-6768-8655

<http://www.toyo-hoist.co.jp>

九州支店 〒811-0214 福岡市東区和白東 3-29-40
TEL 092-410-6106(代) FAX 092-608-0010
名古屋営業所 〒454-0842 名古屋市中川区宮脇町 2-62
TEL 052-363-5121(代) FAX 052-363-5131
メンテナンス課 〒811-0112 福岡県糟屋郡新宮町下府 2-11-1
TEL 092-963-1580 FAX 092-963-2367